

「知の拠点あいち重点研究プロジェクト(I期)」成果普及セミナー

残留農薬の「簡単・迅速・安価」な検査技術

主 催： あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター

共 催： 包装食品技術協会

農薬の使用は野菜や果物などの安定供給のために重要です。しかし、残留農薬による健康被害に対する消費者の不安感を払拭するために、食品中に残留している農薬を分析することは不可欠です。「知の拠点あいち重点研究プロジェクト(I期)」で実施した「食の安心・安全技術開発プロジェクト」において、豊橋技術科学大学 環境・生命工学系 岩佐 精二教授と株式会社島津製作所などの研究グループは、残留農薬を「簡単・迅速・安価」に検査する技術の開発を行ってきました。

本セミナーでは、イムノクロマト法を用いた残留農薬検出技術及びGC-MS用残留農薬微量マルチ定量パッケージについて開発者である豊橋技術科学大学岩佐教授及び株式会社島津製作所分析計測事業部 宮川プロダクトマネージャーに御講演いただきます。

多くの皆さまに御参加いただきますようお願い致します。

【日 時】平成28年12月1日(木) 13:30~16:00

【場 所】あいち産業科学技術総合センター食品工業技術センター 大研修室
名古屋市西区新福寺町2丁目1番1 TEL: 052-325-8094

【定 員】50名(先着順)

【参加費】無 料

【プログラム】

講演1 イムノクロマト法を用いた残留農薬検出技術

13:30~14:50

豊橋技術科学大学大学院 環境・生命工学系 教授 岩佐 精二 氏

抗原抗体反応を基本原理とするイムノクロマト法を用いた残留農薬の測定は、非常に簡単で、専門技術や特殊器具が不要な検査技術です。農作物の集荷場や出荷場、食品企業における仕入れ時や加工前の自主検査などに利用できます。本講演では、イムノクロマト法を用いた残留農薬検出技術の基礎から応用までをご説明いただきます。

講演2 : GC-MS用残留農薬微量マルチ定量パッケージ

15:00~16:00

株式会社島津製作所 分析計測事業部 プロダクトマネージャー 宮川 治彦 氏

農薬等による健康被害事案に迅速に対応するために、国内外の検査機関及び食品メーカーの品質管理部門などで、原材料中の残留農薬等を網羅的にスクリーニング定量し、食品衛生法の基準に適合しているか迅速に判定対応できるツールが求められています。本講演では、新たに開発した「GC-MS用残留農薬微量マルチ定量パッケージ」についてご紹介をしていただきます。

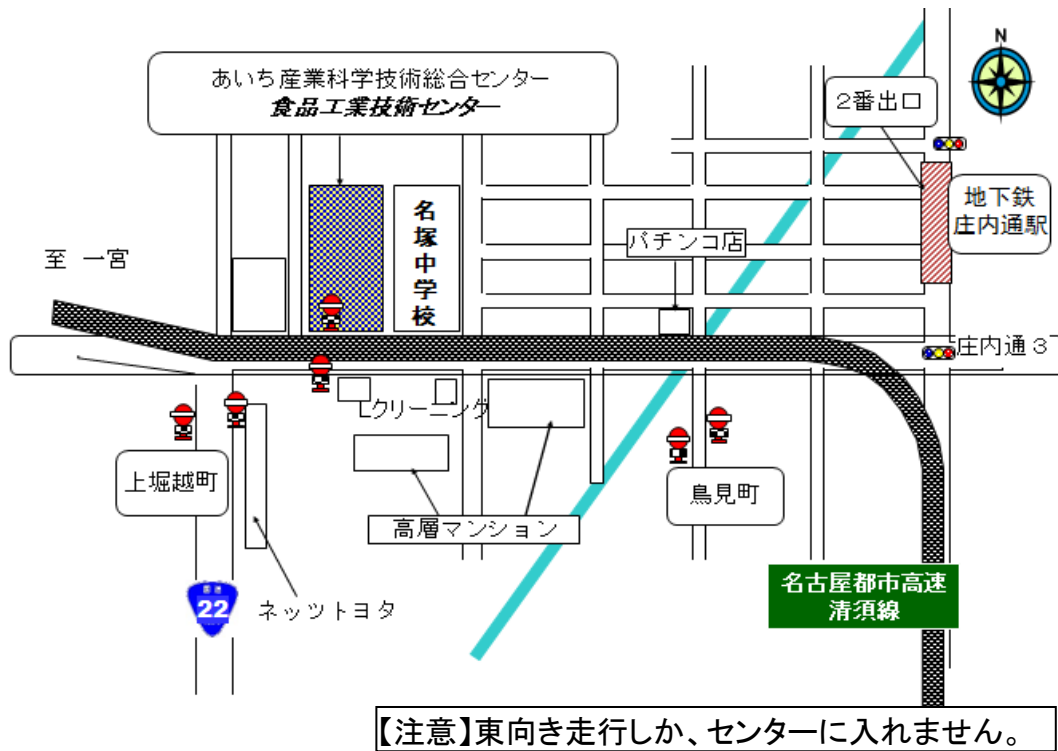
FAX 送信表

FAX 052-532-5791

残留農薬の「簡単・迅速・安価」な検査技術 参加申込書			
事業所名			電話
所在地			
所属	氏名	所属	氏名

* 本申込書にご記入いただいた情報は、本講習会以外の目的には使用致しません。
 参加受付証は発行いたしません。お申込みの上、直接会場にお越しください。
 なお、定員超過の場合のみ連絡させていただきます。

【会場案内】



■交通案内

- 地下鉄 名古屋駅、栄方面から地下鉄東山線「伏見」乗り換え
 鶴舞線（犬山、上小田井方面）「庄内通」下車 2番出口 西へ徒歩約12分
- 市バス 名古屋駅から
 11番のりば 名駅11号系統（名西橋経由循環名古屋駅行）「上堀越町」下車 徒歩約3分
 10番のりば 名駅13号系統（中切町行 上飯田行） 「鳥見町」 下車 徒歩約6分
 栄「オアシス21」から
 1番のりば 栄25（名塚中学行き、名西橋行き） 「上堀越町」下車 徒歩約3分
- タクシー 名古屋駅から約20分
- 駐車場 51台